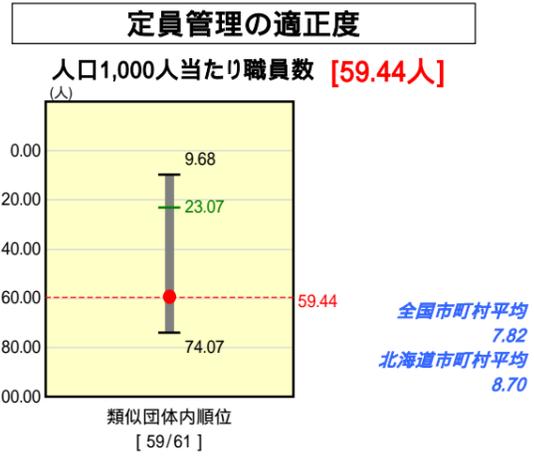
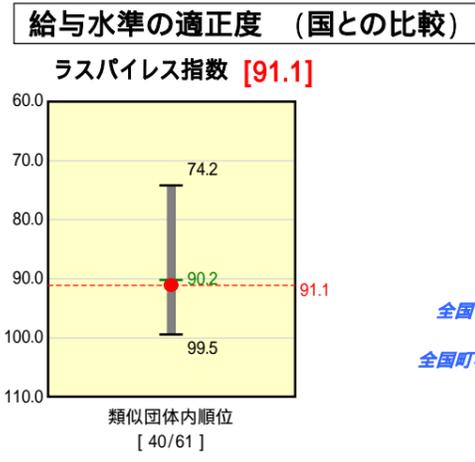
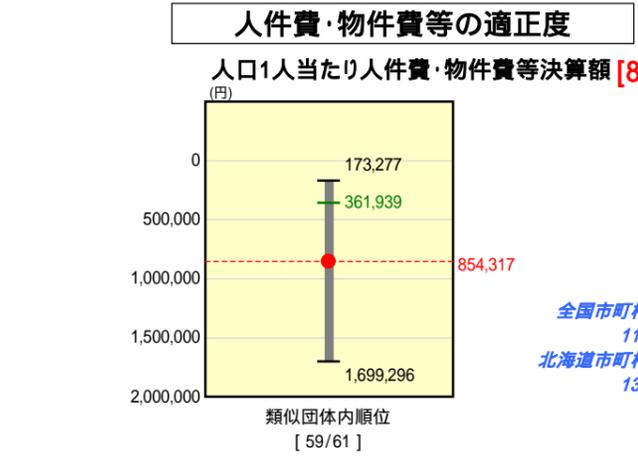
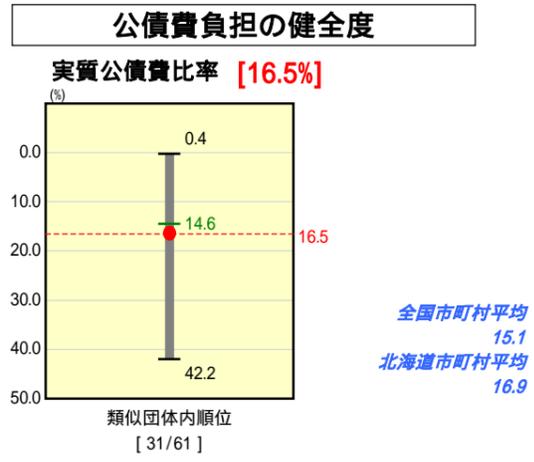
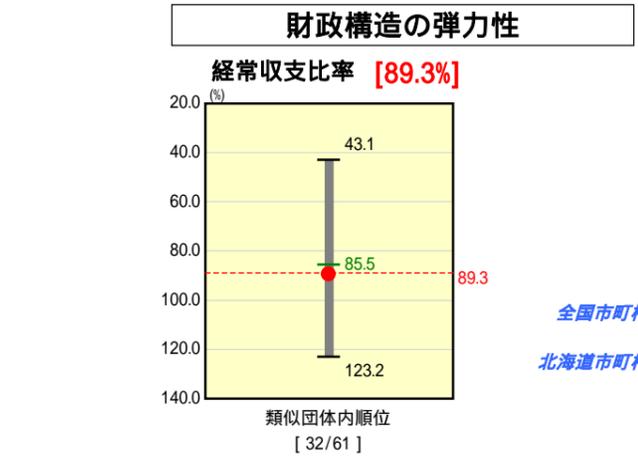
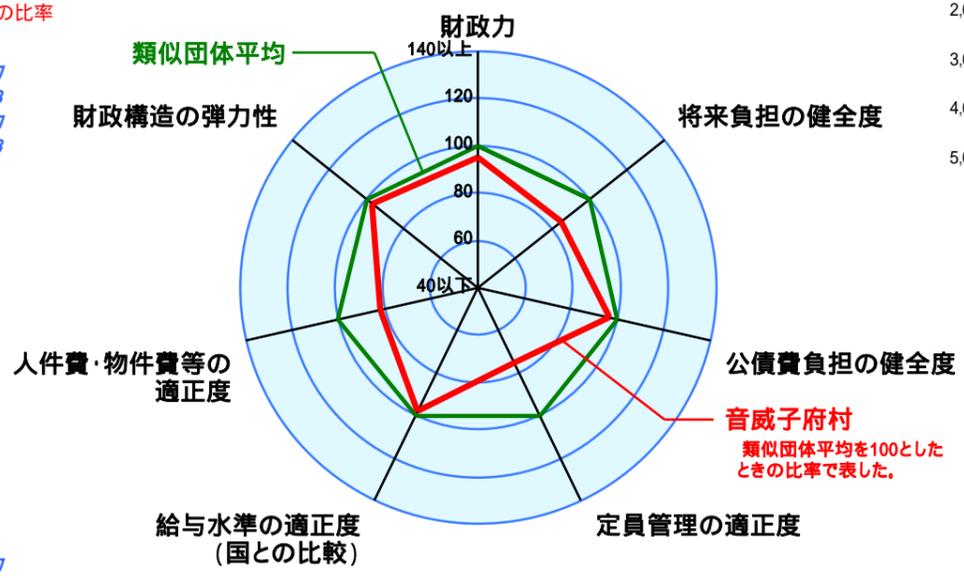
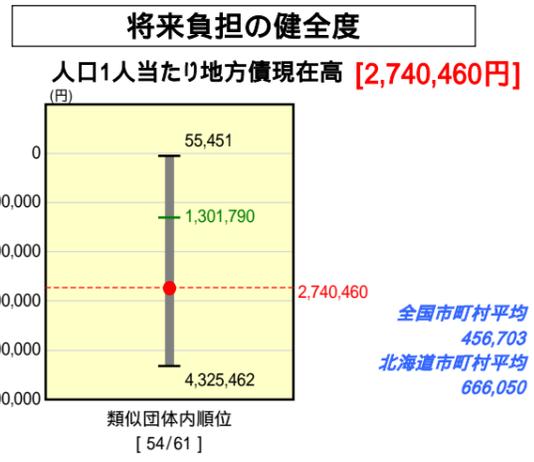
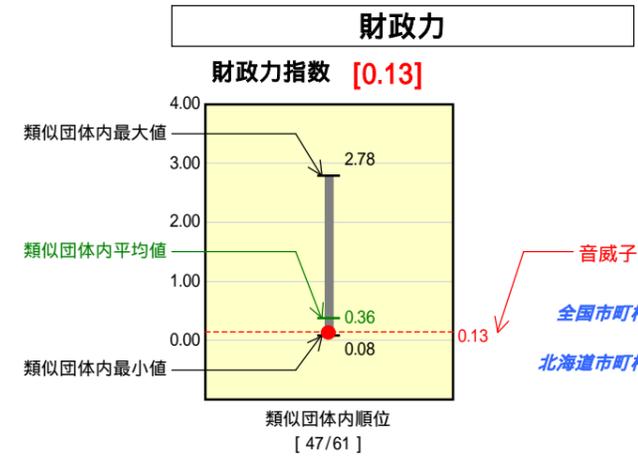


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

北海道 音威子府村

人口	959人	(H19.3.31現在)
面積	275.64	km ²
歳入総額	2,055,835	千円
歳出総額	2,021,828	千円
実質収支	34,007	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数～人口の減少が止まらないことや、中心となる産業がないこと等により、財政基盤が非常に弱く類似団体平均を大きく下回っている。これまで平成17年度策定の「自立プラン」に基づき歳出では給与費の削減、退職不補充、補助金の削減、歳入では公共料金等の値上げにより歳出の縮減と行政の効率化に努める。

経常収支比率～前年よりも悪化し、類似団体の平均を上回っている。人件費にかかる比率も35%を占め新規採用者の抑制や給与削減等により人件費の抑制を図り行財政改革の取り組みを通じ義務的経費の削減に努めていく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額～人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額が類似団体平均を上回るのは、人件費及び物件費が主な原因となっている。これは、村立高等学校の運営を行っているためである。今後も運営の効率化を目指し、経費削減に努めていく方針である。

人口1人当たり地方債現在高～類似団体平均を大きく上回っている主な要因としては、平成11年度に実施した診療所改築事業(起債額4億8千万)等であるが、新規地方債の発行抑制により水準を下げるよう努める。

実質公債費比率～普通建設事業費に係る起債の償還等に伴い上昇し、類似団体平均をやや上回っている。平成17年度以降大規模な事業を行っておらず、今後も事業計画の縮小を図り類似団体の水準を目指すよう努める。

人口1,000人当たり職員数～村立高等学校を設置(教職員数16名)していることから、類似団体平均を大きく上回っているが、行財政改革(自立プラン)に基づく定年等退職者の不補充により平成13年度から平成18年度末までに12人の減となっており、今後も定員の適正化に努める。

ラスパイレース指数～前年より1ポイント上昇し、類似団体平均をやや上回ってはいるものの、ほぼ同水準である。今後も「自立プラン」に基づき、一層の適正化に努める。